

9月21日は!?

世界アルツハイマーデーって知ってる?

認知症の約半数以上を占めるアルツハイマー型認知症をご存知でしょうか。これは色々な事が原因で脳が縮んだり細胞が減少するなど、覚える事や考える事がゆっくりと障害されてしまう進行性の脳の病気です。

このアルツハイマー型認知症をはじめとする“認知症への理解”をすすめる、本人や家族に援助と希望をもたらす事を目的として制定されたのが『世界アルツハイマーデー』です。1994年9月21日に開催された国際アルツハイマー病協会国際会議にて、初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」であると宣言したのが始まりです。

羽曳野市でも認知症への理解を促進するために各種啓発イベント等を実施しています。

オレンジ新聞

発行
羽曳野市
地域包括支援センター
羽曳野市誉田4丁目1番1号
☎ 072-947-3822(直通)



認知症VR
体験中...



物忘れチェック
体験中...



推進員が気軽に
相談に乗ります!



オレンジシップTシャツが
できました!

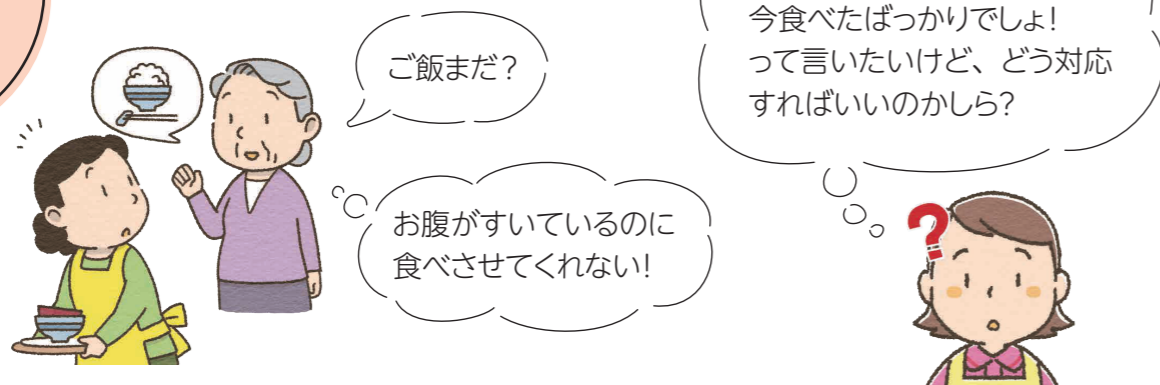
次のページで
認知症の症状への
対応を紹介してるよ!



こんな時 どうする??

記憶障害

ご飯の時に…



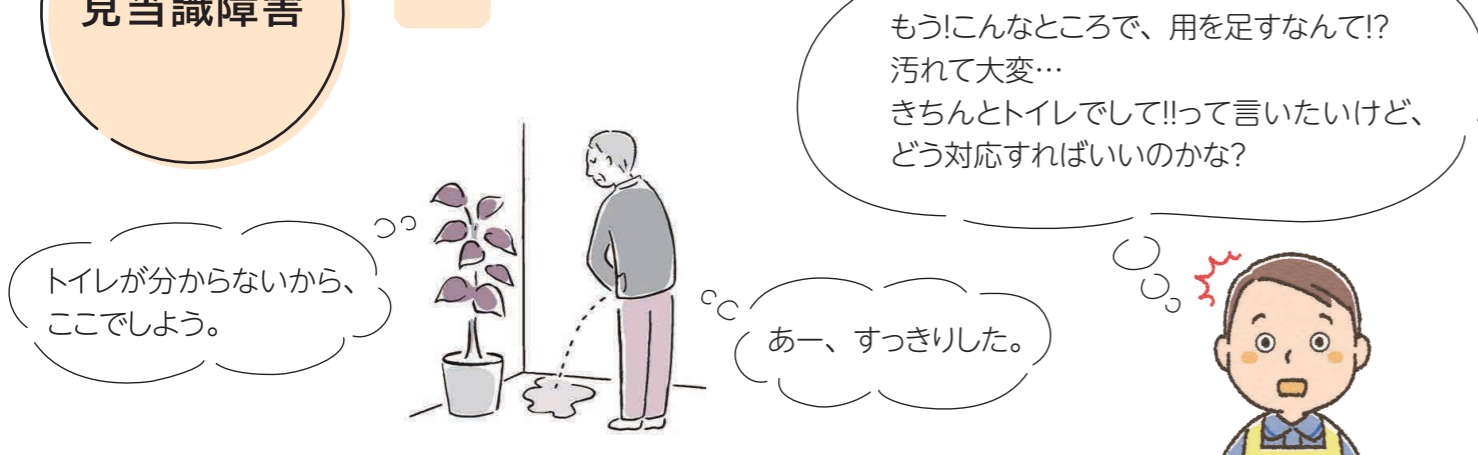
Advice /



こんな時は…お茶やお菓子等カロリーを抑えたものを少量用意して「これを食べて待っていてくださいね。」と渡したり、時間を見ながら「夕方6時にごはんにしましょうね。今日のおかずは何にしましょう?」と次の食事時間を告げて、『もうすぐ食べられる』という期待に代わる未来志向の声掛けをすると効果的です。
認知症が進行すると、食べた事を忘れ、満腹感を感じにくくなっていますので、否定や説明・説得はせず、受け入れて対応することが大切です。

見当識障害

トイレの時に…



Advice /



こんな時は…トイレだと分かる目印をドアや目につく所に貼っておくなど、本人に合った環境を整える必要があります。
誰もトイレの失敗は恥ずかしいものです。トイレの失敗を責めることは自尊心を傷つけてしまい、さらに症状を悪化させることに繋がる可能性があります。なぜトイレの場所が分からないのかを考えてみると解決できることもありますよ。

あれ?いつもと違うな…

行動・心理症状 (BPSD)

物を捜している時に… (物盗られ妄想)



Advice /



こんな時は…「一緒に探そうね」と言って、捜すのを手伝いましょう。皆さんも物を無くされた時、不安になりますよね。一緒に捜すことで本人の不安な気持ちを和らげることができます。さらに家族の間で大切なものをしまっておく場所をいくつか決めておくと探しやすくなります。
また、こうした場面では本人に見つけてもらうなど、誘導してみるといいかもしれませんね。身近な人ほど「〇〇さんが盗った」と疑われることがありますが、一番頼りにしている証ともいえるでしょう。



医療法人昌円会
介護老人保健施設 宙
連絡先: 072-939-0011
担当: 吉川



医療法人はあとふる
介護老人保健施設 悠々亭
連絡先: 072-953-1002 担当: 伊藤



医療法人健泉会 西松庵
連絡先: 072-959-8358
担当: 今井

前と少し様子が違うなあ。なんか物忘れが増えたな〜。など、気になる事があれば、ぜひ私たち **認知症地域支援推進員 (オレンジシッパはびきの)** へお気軽にご相談ください!



ぶどうの家
連絡先: 072-950-0157
担当: 阪本・中川・永山・結城



社会福祉法人 ふくふく会
グループホームみやび
連絡先: 072-950-0382
担当: 榎野・藤田



グループホームみやびのもり
連絡先: 072-950-0383
担当: 大植



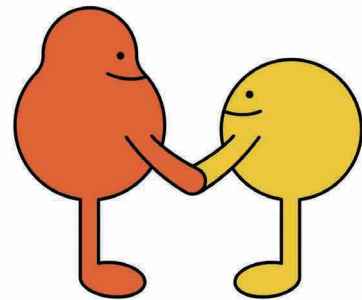
羽曳野市高齢者見守り協定を締結しました!!

急速な少子高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者及び認知症高齢者の増加等を見据え、高齢者及びその家族等が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指すため、本市では民間企業等と『羽曳野市高齢者見守り協定』を結び、企業と連携して高齢者等に対する見守り活動を実施しております。

この協定は認知症の一人歩き等による行方不明高齢者等の早期発見・保護、高齢者の孤立死や消費者被害の防止など、地域における高齢者の見守り等の推進を図ることを目的としています。

令和3年度は新たに下記の団体と協定を締結しました。

- 株式会社サンプラザ
- 読売新聞
- ゆうちょ銀行
- 大塚製薬株式会社（包括協定）
- 明治安田生命（包括協定）



今後、羽曳野市高齢者見守り協定に賛同していただける民間企業等がありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

認知症ケアパスをご存じですか？



「認知症ケアパス」とは、認知症の人が認知症を発症したときから、生活機能障害が進行していく中でその進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかを、あらかじめ認知症の人とその家族に提示するためのものになります。

認知症と疑われる症状が出た場合に、医療や介護サービスへのアクセス方法やどの様な支援を受けることができるのかを事前に知る事ができます。

今後も住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、「認知症ケアパス」をご活用ください。



市役所・各推進員の事業所でお渡しできます！ぜひ一度ご連絡下さい！

☎ 相談及び問い合わせ及び新聞発行元

羽曳野市地域包括支援センター（羽曳野市役所地域包括支援課）

電話 072-947-3822（直通 9：00～17：30） FAX 072-950-1030